



残存プレストレス調査

**構造物への負担が少なく、特殊な機材を必要としない！
コア切込みによる残存プレストレス推定手法！**

残存プレストレス推定手法とは...

2方向のひずみゲージを貼り付け、コアを切り込むことによって解放されるひずみを測定することで、調査位置における乾燥収縮、クリープひずみの影響を消去し、応力を推定する手法です。（コア切込み法）

